

実績報告書

日本財団 ご担当者様

報告日付：2022年7月1日

事業ID：2021000397

事業名：長野県における「子ども第三の居場所」  
コミュニティモデルの開設・運営助成

団体名：岩村田本町商店街振興組合

担当者：細川 保英

TEL：0267-54-8339

<事業の実施状況>

- 2021年8月27日（金） 運営団体・長野県みらい基金間での助成契約の締結
- 8月30日（月） おいでなん処改装工事 発注 工事開始
- 9月15日（水） 佐久市福祉課、学校教育課、佐久市社協 事業開始案内と事業連携協力要請  
佐久市内浅間地区の小学校6校へのイベント紹介と、「子どもの居場所」設置の告知を訪問して趣旨説明
- 10月22日（金） セレモニー（開所式）の開催（14：00から2時間程度を予定）
- 10月24日（日） 利用者向けお披露目会（イベント）の実施
- 10月26日（火） 運営開始  
佐久市内浅間地区の小学校6校へのイベント紹介と、「子どもの居場所」運営状況を訪問して説明（対象生徒への参加促進を依頼）  
主任民生児童委員、浅間地区各区長会で居場所の意義を説明する場をいただき協力要請
- 12月11日（土） 「クリスマスツリーをつくろう！」イベント開催（18名の親子が参加）  
支援の必要な子どものための「基礎学力講座」（寺子屋塾 参加者2名）
- 21日（火） 読み聞かせ講座 クリスマス会（おいでなん処 年内終了）
- 23日（木） 支援の必要な子どものための「基礎学力講座」（寺子屋塾 参加者2名）
- 2022年1月11日（火） 子どもの居場所（年明け再開）
- 18日（火） 「母さんたちのダベリング」カフェ  
（開催を予定したがコロナ感染防止のため中止）
- 20日（木） 支援の必要な子どものための「基礎学力講座」（寺子屋塾 2名）
- 2月1日～15日 コロナ感染防止 警戒レベルが上がったため休室
- 2月5日（土） 支援の必要な子どものための「基礎学力講座」（寺子屋塾 2名）
- 15日（火） 3月1日（火） 「母さんたちのダベリング」カフェ

(開催を予定したがコロナ感染防止のため中止)

2月16日(水) 佐久地域現地支援チーム会議 (ZOOMにて実施)

関係各機関の助言をいただき、以降の事業活動の参考にさせていただいた。(参加者 20名)

おいでなん処キッチンを改修完了(3層シンク、手洗い設置)佐久保健所様のアドバイスに基づき改修。

3月16日(水) 長野県域全体支援チーム会議 参加

他エリアの状況を学習させていただき、大いに参考になった。

3月 22日(火) 4月23日開催の「親子でつくろう フラワーアレンジメント」のチラシ折込。併せて、来者用のパンフレット、関係機関に掲示していただくポスターを作成。

また、SNSの情報強化するため、「子どもの居場所」で独自ドメインを取得し「子どもの居場所」でのヒット率を上げる効果狙った。また、オフィシャルのLineを利用者や、ボランティアスタッフ専用Lineも設定。利用者の利便を図る。さらに、Instagramからの発信を開始。

以降、利用者の保護者との連絡や、利用申し込みが非常にスムーズになるとともに、相談事案も増えてきた。

4月23日(土)「親子でつくろう フラワーアレンジメント」開催

6家族13名の参加 初めて会費500円(1作品につき)を徴収したが、核家族ともとても満足度が高く、継続して「居場所」利用の家族も発生してきた。

26日(火) 佐久市子育て支援課から「問題抱えたご家庭で、子どもの居場所の利用希望している」との紹介が入り、体験していただく。

現地支援チーム会議や、全体支援会議などからいただいたアドバイスなどをいただきながら、推進し、告知方法の改善も含めて実施した結果、地元小学校校区からの利用希望者が出始めてきた。即刻、小学校の校長と連携し情報共有しながら進めている。

## 追記

本事業の特徴でもある、「かかわりタイム」は子供たちにいろいろな方とのかかわりを通して自己肯定感を醸成してもらおうという意図のもとに運営している。事業開始にあたって、地域の高校、大学に依頼し、事業意図を説明に伺い、ボランティアを募集したところ、大学生、高校生あわせて、42名のボランティア登録をしていただき、毎回、後退しながら関わっていただいている。

「おいでなん処」改装工事進捗状況 2021.09.30.



おいでなん処 正面



南面 内装



北面 内装



ホール 内装



和室 内装



キッチン 内装



トイレ 内装

< 上半期 課題 >

1. 事業の有効性は、地域の方にも学校関係者にも理解をいただき、支持を得ているが、利用者が増えてこない。当所 5 名の登録があり、常時 4 名程度の利用であったが、2 名の転居と、コロナ感染が激しくなった関係で、利用者が増えない。

これまで、浅間地区の小学校 6 校にイベントごとにリーフレット作成しながら全校配布をお願いしているが、今後はさらに広報手段を 2 重 3 重にしての募集が必要かと考え、HP の改修、SNS を通じての利用者へのアプローチなどを進める中で、利用希望者が増えてきつつあるが、本来利用してもらいたい対象者へのアプローチ方法は、さまざまな機関との連携も含めて強化していく必要がある。

2. 事業開始後、当該事業の「食事提供」につき、地域の方から「食事提供」について、食品営業許可申請は、必要ではないかとのお声を頂戴した。長野県みらい基金様にもご相談申し上げ、佐久保健所にアドバイスをいただいていたのは？との助言をいただき、2021 年 12 月 2 日に佐久保健所に、図面をもって相談に伺った。

保健所の担当官からは、食事提供の内容から 20 食程度であれば、食品衛生許可取得の必要はないが、流し台を 1 層シンクから 2 層シンクに。また、キッチン内に手洗いを設置してほしいとの助言をいただいたので速やかに改善したい。

下半期成果

2 月に、予算組替をすませ、1 層シンクより 2 層シンク + 手洗いに改修することができた。

子どもに食事を提供するということもあり、衛生面からも改善ができ安心して居場所を開催できる。

キッチン 改修前(1層シンク)



改修後(2層シンクと手洗い設置)

